

台東区の課題と取組み

ここでは、台東区の課題と取組みについて、平成24年度から25年度にかけての主な状況を取り上げます。なお、以下の3つの分野は、基本構想（※1ページ）の3つの将来像に基づいています。

産業・観光・文化の分野では

- 近年の景気の低迷などから、ものづくりを行う事業者数は減少傾向にあります。台東区では、ものづくりを行う事業者の強みを生かし、弱みを克服するため、デザインの力を活用し、製品の良さを伝える「プロモーション」の強化を支援しています。
- 台東区には100を超える商店街があります。区内の約7割の商店街で空き店舗が発生しており、課題の一つとなっていることから、商店街の活性化や地域貢献につながる事業を始める事業者に対する支援を行っています。
- 東京スカイツリーの絶好のビュースポットとなった隅田川沿いには、多くの観光客が訪れています。台東区では、この賑わいを恒常的なものにして、地域の一層の活性化を図るために、オープンカフェを設置しています。
- 台東区の貴重な文化財である、朝倉彫塑館の文化財的価値を高めるとともに、施設の耐震補強と老朽化対策を実施するため、保存修復工事を実施しました。

まちづくり・環境・生涯学習の分野では

- 谷中・根岸地域には、幅の狭い道路や古い木造住宅が多く存在しているため、大震災時には、大きな被害が予想されています。そこで、道路の整備や燃えにくい建物への建替え促進等を行い、災害に強いまちづくりを進めています。
- 台東区及び谷中地域の防災力の強化と地域コミュニティの向上を図るため、防災機能とコミュニティ施設の機能を備えた（仮称）谷中防災・コミュニティ施設の整備を進めています。
- 火災の発生を予防し、火災が発生した場合には、その拡大や延焼を防いで、被害の軽減を図るため、区民の方でも扱える消火資機材の配備を行っています。
- ごみと資源の分別を進め、ごみを減量するため、平成25年から3年間かけて、区内全域に戸別収集を拡大していきます。

- 会社やお店、個人の方に、社会貢献活動の一環として図書館の雑誌を提供していただく「雑誌スポンサー制度」を導入しました。

福祉・健康・子育て・教育の分野では

- 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるよう、地域密着型サービスを提供する事業所の整備を計画的に進めています。
- 高齢者が地域社会で孤立することを防ぎ、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域全体で高齢者を見守り、支えていくためのネットワークを構築しています。
- 区民の誰もが、地域で互いに支えあい、安心して、いきいきと健やかに暮らせるまちの実現を目指して、新たな「健康たいとう21推進計画（第二次）」を策定しました。
- 保護者の就労状況などで区分することなく、就学前の子どもに適切な教育・保育の機会を提供し、その時期にふさわしい成長を促すことを目的とした認定こども園の整備を進めています。
- 今後の時代や社会の変化を見据え、未来の台東区を築く子どもたちを育む教育施策を進めるため、中長期的な学校教育の将来を見据えた「台東区学校教育ビジョン」を策定しました。